



2007/08 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報



第 2 1 4 2 回例会 2007年10月31日(水) SAA / 三平会員 会報担当 / 山本会員

例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535

点 鐘 市原 R C 会長 角谷 修
ソング 手に手つないで 四つのテスト唱和
お客様 地区幹事長 石井七郎様(千葉北 R C)

会長挨拶 市原 R C 会長 角谷 修



皆さん こんにちは！

先週の 24 日、25 日は東電施設研修旅行お疲れ様でした。紅葉は少し早かったですが旅行には絶好のお天気でした。皆様の日頃の行いに感謝申し上げます。

アメリカでは例のサブプライムの問題で景気の先行不透明な所があるせいか F.R.B は 0.25% の金利引き下げを余儀なくされています。日本の金融機関の中でもこれに関連する中間決算の発表があり、未だ予断は出来ないと言うアナリストもいらっしゃいます。中国の株もバブルではないかとの説もあり、日銀も当分は神経を使わなくてはならないかも知れません。

当然の事ながら、経済のみならず全ての点で世界の動きに日本も連動せざるを得ないのかもしれないとの想いを強くするこの頃です。皆さんはいかがですか？

新入会員入会式



澤井謙一会員 (株)千葉銀行 姉崎支店 支店長

お客様ご挨拶



白鳥ガバナー、石井地区幹事長より地区大会の御礼

卓話 常泉健一会員 <出会い>



江戸初期から 300 年間に日本独自の職業倫理を唱えた社会思想家との出会い

次は、某経済人の随筆から借用した私の好きな詩です。

<愛縁：機縁>

出会い、それは不思議なものです。嬉しいものです。

だから大切にしたいとおもいます。

なかでも人と人との出会いはとてもドラマチックです。

出会いをたくさん持っている程、

人間が豊かに素晴らしくなるでしょう。

入会して 15 年、様々な出会いがあり、私の人生に貴重な財産となっています。今回の卓話には、私の価値観に大きなインパクトを与えたロータリアンとの出会いについて、お話するつもりでいましたが、別の機会に譲って、ロータリー運動の根幹とも言われている職業倫理の理念を唱えた、ロータリー発足以前の歴史上の人物との出会いについて紹介することにしました。私にとっては、ロータリーの学習を通して出会った貴重な歴史上の人物であり、ロータリーについて理解を深めるためにおおきな出会いであったように思います。特に注目したいのは、アメリカで 1905 年に誕生したロータリーではありますが、それ以前 300 年の間に、すでに日本社会において、職業に就いていることの意味を説く思想家がいたということです。この時代、即ち江戸時代の文化は唯一他国の影響を受けなかった、自前の創造的文化であったと、歴史学者は指摘しています。その意味では、世界の評価に耐えうる社会思想家が存在していたことを大いに誇るべきことでしょう。

さて、次に今回のテーマに沿って、関係する方々を紹介しましょう。

* **鈴木 正三** (天正 7 ~ 明暦元 1579 ~ 1655) 江戸初期
江戸時代初期に日本で初めて職業倫理を提唱した啓蒙
的社会思想家と言われている。

通称、九太夫、正三は俗名。出家した後その名を襲名
した。武家出身で、関が原、大阪冬の陣に出陣、元和 6
年、42 歳で出家禅僧となる。曹洞宗に属したが、仏教
学については無学を誇り、民衆のために専ら仮名書き
の著作活動を行った。代表作は「万民徳用」である。
武士日用、農人日用、職人日用、商人日用、と合わせ
て「四民日用」として、それぞれの職業についての処
し方を教えた。日用とは、日常用いるもの、毎日使う
の意、人は何故働くのか、如何に働くべきか、働くこ
との意味を説いた。

* **石田 梅岩** (貞享 2 ~ 延享元 1685 ~ 1744) 江戸中期
梅岩は、丁稚奉公、手代として商家に仕えた後、四十
四歳で心学布教の講義を京都で始めた。マネジメント
に関する講義は世界で初めてであり、その経営哲学は、
商業の意義と商人の生き方の追求であった。「石門心
学」と呼ばれた。江戸時代の後半から明治初期まで、
全国にこの「心学塾」があり、大きな精神修養団体だ
った。武士も大名も参加、石門心学の説く清廉で勤勉
な精神は、圧倒的に庶民の中に広まり、「勤勉と儉約」
という町人哲学を生み出した。「堺屋太」は著書「日
本を創った 12 人」で、今日の日本人の美意識、倫理観、
生活様式や人間評価に深い影響を与え、この国独特の
勤労観を決定づけており、石門心学を提唱した石田梅
岩は、現代日本の創った人物して欠くことのできない
人であると評している

* **西村 茂樹** (文政 11 ~ 明治 35 1828 ~ 1902)
文政 11 年佐倉藩邸に生まれ、父の死後家督を継ぎ、俸
120 石、佐久間象山の門下として、西洋兵学、蘭、英
学、を修行、若くして、藩政改革に大きな役割を果た
した。明治 6 年、この時代の先進的論客として知られ
ている、森有礼、福沢諭吉、西周、加藤弘之、中村正
直らと「明六社」を設立、開化思想、自由思想の啓蒙
運動を精力的に展開している。明治 9 年、国民の道義
向上を目指し、国家社会の基礎を強固にするための道
義教化団体として「東京脩学社」を創設。(現在の弘道
会)明治 19 年に「日本道德論」を公にして、当時、西
欧の模倣と追隨に終始していた社会の風潮と政治の在
り方を厳しく批判、日本道德の確立を訴えた。

特に道德は知っただけでは何の益にならない、これを実
行して、はじめて道德の用を為すと、実践道德の必要を
説いた。この考え方は、ロータリーの理念と共通するも
のがあり、ロータリー発足 (1905)以前に日本道德論を
公にして実践道德を説いたことに注目すべきである。

以上倫理にかかわる 3 人の社会思想家を紹介しまし
た。江戸初期、中期、明治初期と 300 年の間にこれら
の方々が活躍した時期の社会情勢には、ほぼ、共通したも
のを感じています。混乱の時代から安定した時代、そし
て停滞・・・それなりの豊かさが社会の乱れを生み、こ
れを憂える警世家の登場であったと言えないでしょう
か。高度成長、バブル景気、そしてバブルの崩壊、経済
の停滞、社会情勢の不安定、倫理の乱れ、日本の現状は
どうでしょうか。ドイツの社会学者 マックス・ウェバ
ーが、100 年前に予言した富める国の正体、「精神のな
い専門人、心情のない享楽人」出現そのものではありませんか。

倫理運動を活動の根幹に据えているロータリアンと
して、その役割は誠に重大であると言わなければなりま
せん。

* 詳細を知りたい方は、拙著 ROTARYQ&A をご覧下さ
い。

ニコニコ・ソーリーボックス

白鳥ガバナー・石井地区幹事長：皆様のおかげで地区大
会を無事終了することができました。石井地区幹事長と
もども皆様のご支援に対して心からお礼申し上げます。

小池会員：地区大会にて白鳥ガバナーより地区奉仕活動
優秀会員として名誉ある表彰を拝受致しました。これも
会員の皆様の協力の賜物として感謝申し上げます。誠に
ありがとうございました。

夏井会員：30 年勤続賞を頂きましたので。

佐藤勇会員：先日地区大会で 30 年勤続表彰を頂きまし
た。望外の賞に恐縮しております。

常泉会員：聞き取りにくい声なのに静かに耳を傾けてい
ただきありがとうございました。石井幹事長さん地区大
会ご苦労様でした。

西村会員：先日は東電のご好意により紅葉の一番美しい
時に皆様と楽しい旅行ができました。お世話様でした。

出席報告

前々回確定 100%	本日出席者 30 名
本日欠席者 15 名	本日出席率 77.7%